



おぐら  
尾倉

<校訓>  
自主  
創造  
協力



令和3年7月9日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

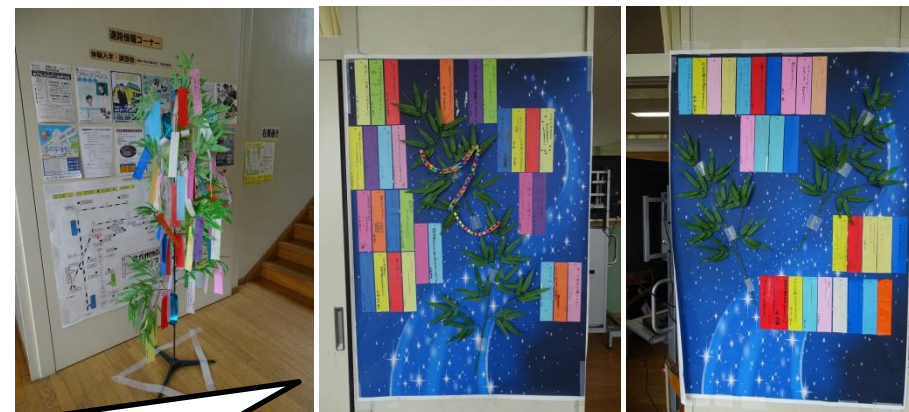
- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
  - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
  - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー



## 豊かな心のために～大切にしたい季節を感じる行事～

7月7日の七夕(たなばた)といえば、織姫と彦星が年に一度再会する日、短冊に願いを書いて星に願う日として有名ですが、どうしてそのような日になったのでしょうか？七夕を「たなばた」と読むのはなぜでしょう？

七夕の由来・起源や意味を知ると、行事の意味がわかります。七夕の本当の意味を知り、有意義に過ごしたいものです。今は本物の笹を飾る家も少なくなってきました。尾倉中学校でも、7日に短冊に願いを書きました。3年生は部活動や進路に関する願いが多かったようです。みなさんの願いが叶うといいですね。



尾倉中学校の生徒の七夕飾りです。左は2・3年生、真ん中と右側は1年生です。日本には四季折々の美しい習慣があります。そのなかで生まれた季節の風趣や楽しみごとが現代まで継承されたのが、年中行事です。自然や祖先に想いを馳せ、古来の日本人がつないできた日本の年中行事を大切にしていきたいものです。(大人になると忘れがちですが)